

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
設定日	2017年3月6日
信託期間	2017年3月6日～2027年3月5日（10年）
運用方針	米ドル建て外国投資信託証券への投資を通じて、主に世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リート等に実質的に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保とともに中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。また、市場動向に応じて債券、株式、リート等の資産配分を定期的に見直します。なお、親投資信託であるキャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。
主要運用対象	世界リアルアセット・バランス（資産成長型） ・ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA 受益証券を主要投資対象とします。なお、キャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。 ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA ・世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リートなどを主要投資対象とします。 キャッシュ・マネジメント・マザーファンド ・本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
投資制限	・投資信託証券、短期社債等およびコマーシャル・ペーパー以外の有価証券への直接投資は行いません。 ・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産の投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年3月、9月の5日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

## 運用報告書（全体版）

第6期

決算日 2020年3月5日

## 世界リアルアセット・バランス （資産成長型）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「世界リアルアセット・バランス（資産成長型）」は、去る2020年3月5日に第6期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ  
フリーダイヤル 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

<https://www.smd-am.co.jp>

# 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	投資信託証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税金 込 分配	騰落 率			
	円	円	%	%	%	百万円
第2期（2018年3月5日）	9,232	0	△8.3	0.0	97.5	3,750
第3期（2018年9月5日）	10,076	0	9.1	0.1	97.5	3,138
第4期（2019年3月5日）	10,280	0	2.0	0.1	97.5	2,778
第5期（2019年9月5日）	10,460	0	1.8	0.1	97.6	2,629
第6期（2020年3月5日）	10,588	0	1.2	0.1	97.4	1,836

\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

## 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準	価額		公社債 組入比率	投資信託証券 組入比率
		騰落	率		
(期首) 2019年9月5日	円		%	%	%
	10,460		—	0.1	97.6
9月末	10,568		1.0	0.1	97.8
10月末	10,711		2.4	0.1	102.4
11月末	10,719		2.5	0.1	97.9
12月末	10,822		3.5	0.1	95.4
2020年1月末	10,906		4.3	0.1	98.4
2月末	10,593		1.3	0.1	98.6
(期末) 2020年3月5日	10,588		1.2	0.1	97.4

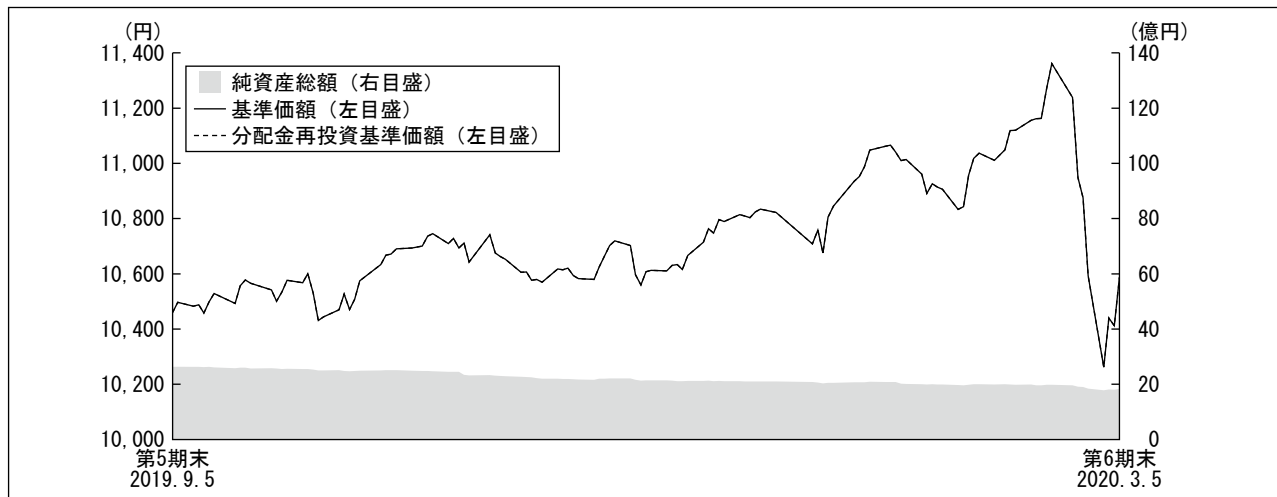
\*騰落率は期首比です。

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、公社債組入比率は実質組入比率を記載しています。

# 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第6期首：10,460円

第6期末：10,588円（既払分配金 0円）

騰落率：+1.2%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスAへの投資を通じて、主に世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リート等を実質的に分散投資を行いました。

（上昇要因）

リアルアセット関連債券では、全てのセクターが好調でした。インフラ関連株式では、英国の公益事業や、米国の通信塔銘柄等がプラスに貢献しました。

（下落要因）

不動産関連株式では、組み入れていた英国と欧州のリテールや、米国のヘルスケアやホテル銘柄等がパフォーマンスを毀損しました。組み入れていたMLPもマイナスに作用しました。

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### 【投資環境】

当期のリアルアセット関連債券市場は上昇しました。米10年国債利回りは、期末に見られたボラティリティ（価格変動性）の高まりを受けて、当期中に低下しました。

インフラ関連株式市場はプラスとなったものの、世界株式市場には出遅れました。地域別では、アメリカ大陸、欧州が上昇した一方、アジア太平洋では下落しました。セクター別では、水道が最も大きく上昇し、送配電、通信などが続きました。港湾、空港、分散型等はマイナスとなりました。米アレリアンMLP指数で見たエネルギーインフラもマイナスでした。

不動産関連株式市場は上昇しました。地域別では、欧州が上昇する一方、アジア太平洋と北米がいずれも下落しました。セクター別では、産業が最も大きく上昇し、オフィス、住宅等もプラスでした。ホテル、個人向け倉庫、ヘルスケア等はマイナスでした。

国内短期金融市場では、期初-0.16%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、2019年9月末以降に年越え要因に絡む海外投資家の短期の国債への需要の高まり等を受けて-0.4%近辺まで低下した後マイナス幅を縮小し、-0.20%近辺で期末を迎えました。

### 【ポートフォリオ】

#### ■世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

主要投資対象であるブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスAを期を通じて高位に組み入れ、期末の投資信託証券組入比率は97.4%としました。

#### ■ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA

当期、資産配分は大きく動かしませんでした。リアルアセット関連債券の配分は、戦略的資産配分に対してわずかにオーバーウェイトとしました。株式への配分では、相対的によりディフェンシブ（景気変動の影響を受けにくい）な特性を持つと考えているインフラ関連株式を、不動産関連株式と比べてよりオーバーウェイトとしました。

#### ■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### 【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

### 【分配金】

分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。  
なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

### ■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第6期	
	2019年9月6日 ～2020年3月5日	
当期分配金	(円)	0
(対基準価額比率)	(%)	0.00
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,065

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

引き続き、運用の基本方針に従い、米ドル建て外国投資信託証券への投資を通じて、主に世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リート等を実質的に分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保とともに中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ■ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA

リアルアセット関連債券については、社債市場も、足元のボラティリティの高まりによる影響を免れませんでした。新型コロナウイルス感染の大流行と世界経済への影響を巡る不透明性が和らぐまでは、債券市場でもボラティリティが高まる恐れがあると考えています。このような環境を踏まえ、当ファンドではハイイールド社債よりも投資適格社債を嗜好し、保守的なポートフォリオ構成としています。セクター別では、最も魅力的なリスク調整後リターンを有すると考えているインフラ関連を嗜好しており、米国の電力関連銘柄を多く組み入れています。規制業種であるこれらの事業においては、安定した収入とキャッシュフローが期待でき、財務内容も健全です。通信セクターも、データ通信量の拡大などを背景に有望だと見えています。不動産関連債券もこれまで通り大きな比率を占めており、ヘルスケアやオフィス、住宅、娯楽などを含む、

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

分散の効いた構成としています。低金利環境も、引き続き同セクターに追い風となると考えています。天然資源セクターについては、OPECプラス（石油輸出国機構に非加盟主要産油国を加えた構成）の減産交渉が不調に終わったこともあり、原油を中心にボラティリティが急進しており、極めて慎重に見ています。

インフラ関連株式については、COVID-19（新型コロナウイルス）の感染拡大が収束を見せるまで、市場のボラティリティがさらに高まる可能性があり、インフラ関連株式は持前のディフェンシブな特性から恩恵を受けると見えています。セクター別では、いくつかの要因から、公益事業セクターを強気に見ています。金利が当面は低下傾向を示すと見られる中で、投資家の利回りと長期デュレーション\*追求から、米国の公益事業の選好が強まるかもしれないと考えています。発電コストの低い再生可能エネルギーを扱う公益事業は、引き続き最も確信度の高いセクターの一つです。輸送セクターでは、ファンダメンタルズ（基礎的条件）が良好で、他のセクターと比べて経済活動との連動性が低いと見られる有料道路を主として組み入れています。米国の通信塔銘柄は、主に5G（第5世代移動通信システム）による通信を背景に好調が続いており、追加投資の好機も一部現われています。エネルギーセクターの組み入れは、生産コストが低いトップクラスの銘柄に集中していますが、原油価格動向や新型コロナウイルス問題が経済に及ぼす影響を注視しています。

不動産関連株式については、新型コロナウイルス問題が世界経済に及ぼす影響が、短期性のものなのか長期にわたるものとなるのかは未だ不明な中、短期性のものにとどまるとすれば、多くの不動産では賃貸契約期間の長いこともあり、キャッシュフローへの影響は限定的だと見えています。一方、長期性のものとなれば、当ファンドが投資先企業の財務内容を重視していることが、ポートフォリオ価値の保全に対する支えとなると考えています。当ファンドでは、これまで通りバリュエーション投資をメインとしていますが、グロースに着目した投資機会も一部組み入れています。米国のリテールセクターに関しては、これまでよりも警戒度を増しており、エクスポージャーを削減する一方で、ネットリースへの配分と、成長が続く米国南東部を中心に住宅セクターへの配分を増やしています。足元のボラティリティの高まりは、これまではバリュエーション（投資価値評価）が割高であった、ハイクオリティな企業への投資機会を提供していると考えています。

\*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

### ■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

日本銀行は2018年7月の金融政策決定会合において、現行の金融緩和政策を粘り強く続けていくため政策金利のフォワードガイダンスを導入しました。したがって当分の間、市場利回りは低い水準での推移が見込まれます。当ファンドでは引き続き安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続くため、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。ファンドの平均残存年限については2~4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

# 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

## 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019年9月6日～2020年3月5日		
	金額	比率	
信託報酬	61円	0.572%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,720円です。
（投信会社）	(21)	(0.195)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(39)	(0.363)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.014)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	1	0.012	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.006)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	63	0.583	

\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

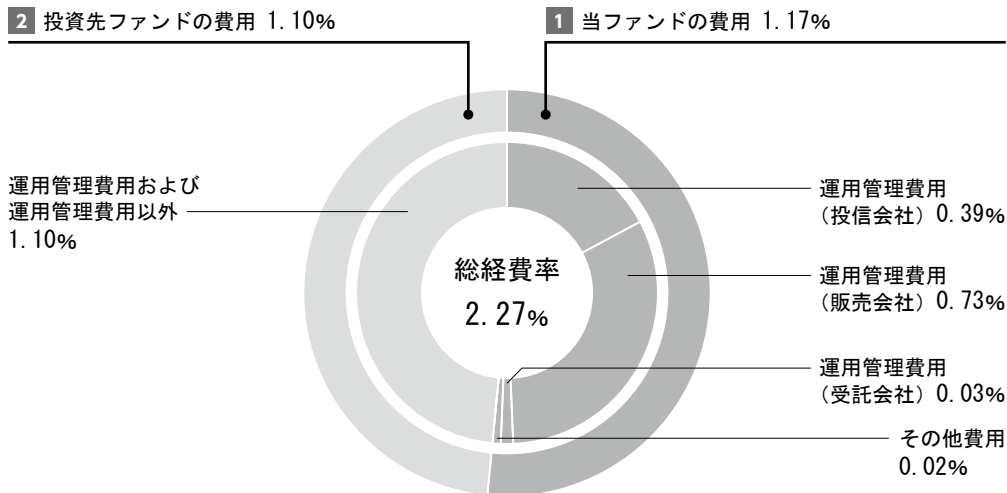
\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

## 参考情報 総経費率（年率換算）



<b>総経費率 (1 + 2)</b>	<b>2.27%</b>
<b>1 当ファンドの費用の比率</b>	<b>1.17%</b>
<b>2 投資先ファンドの費用の比率</b>	<b>1.10%</b>

- \* **1**の各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- \* **2**の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているクラスの費用が入手できないため、入手可能なファンド全体のデータをもとに平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。  
また、運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できないため、まとめて表示しています。
- \* **1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- \* 上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は2.27%です。



## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### 売買及び取引の状況

（2019年9月6日から2020年3月5日まで）

#### ■投資信託受益証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	Brookfield Global Real Asset Fund ClassA	口 14,175	千アメリカ・ドル 1,441	口 84,592	千アメリカ・ドル 8,621

\*金額は受渡し代金

### 利害関係人との取引状況等

（2019年9月6日から2020年3月5日まで）

#### ■利害関係人との取引状況

<世界リアルアセット・バランス（資産成長型）>

当期における利害関係人との取引はありません。

<キャッシュ・マネジメント・マザーファンド>

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 2,644	百万円 600	% 22.7	百万円 —	百万円 —	% —

\*平均保有割合0.1%

\*平均保有割合とは親投資信託残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

# 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

## 組入資産の明細

2020年3月5日現在

### ■ファンド・オブ・ファンズが組み入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期			末 比 率
	口 数	評 価 額		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
Brookfield Global Real Asset Fund ClassA	164,899	千アメリカ・ドル 16,641	千円 1,789,481	% 97.4
合 計	164,899	—	1,789,481	97.4

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 比率は、純資産総額に対する評価額の割合

### ■親投資信託残高

	期首（前期末）	当 期		末 評 価 額
	口 数	口 数	口 数	
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	千口 2,567	千口 2,567	千円 2,609	千円 2,609

### <補足情報>

#### キャッシュ・マネジメント・マザーファンドにおける組入資産の明細

下記は、キャッシュ・マネジメント・マザーファンド全体（5,102,792千口）の内容です。

#### ■公社債

##### A 債券種類別開示

##### 国内（邦貨建）公社債

区 分	2020年3月5日現在						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
特 殊 債 券 (除く金融債券)	千円 1,833,000 (1,833,000)	千円 1,835,940 (1,835,940)	% 35.4 (35.4)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 35.4 (35.4)
普 通 社 債 券	1,600,000 (1,600,000)	1,604,145 (1,604,145)	30.9 (30.9)	— (—)	— (—)	— (—)	30.9 (30.9)
合 計	3,433,000 (3,433,000)	3,440,085 (3,440,085)	66.3 (66.3)	— (—)	— (—)	— (—)	66.3 (66.3)

\* ( ) 内は、非上場債で内書き

\* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### B 個別銘柄開示 国内（邦貨建）公社債

銘柄	利 率	2020年3月5日現在		
		額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
	%	千円	千円	
<b>（特殊債券（除く金融債券））</b>				
10政保地方公共団	1.3000	500,000	500,132	2020/03/13
30 政保日本政策	0.1940	390,000	390,034	2020/03/18
11政保地方公共団	1.4000	400,000	400,698	2020/04/17
104 政保道路機構	1.4000	100,000	100,224	2020/04/30
107 政保道路機構	1.3000	348,000	349,125	2020/05/29
122 政保道路機構	0.9000	95,000	95,726	2020/11/30
小 計	—	1,833,000	1,835,940	—
<b>（普通社債券）</b>				
8 ドンキホーテHD	0.5500	100,000	100,008	2020/03/12
64 新日本製鐵	1.5300	100,000	100,055	2020/03/19
80 東海旅客鉄道	0.0010	100,000	99,998	2020/04/13
173 オリックス	0.8400	100,000	100,086	2020/04/17
43 住友化学	1.5800	100,000	100,204	2020/04/23
46 クレディセゾン	0.7000	100,000	100,086	2020/04/24
184 オリックス	0.3370	100,000	100,047	2020/04/30
13 森ビル	0.4660	100,000	100,096	2020/05/19
6 日本電産	0.0010	100,000	99,997	2020/05/26
33 三菱UFJリース	0.2970	100,000	100,066	2020/06/04
495 東北電力	0.1400	100,000	100,045	2020/06/25
316 北海道電力	1.1640	100,000	100,343	2020/06/25
15東日本旅客鉄道	2.6500	100,000	101,265	2020/08/25
3 大日本印刷	1.3580	100,000	101,105	2020/12/18
5 日本梱包運輸	0.6140	100,000	100,468	2020/12/18
2 ファーストリテイリング	0.2910	100,000	100,268	2020/12/18
小 計	—	1,600,000	1,604,145	—
合 計	—	3,433,000	3,440,085	—

## 投資信託財産の構成

2020年3月5日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	1,789,481	96.4
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	2,609	0.1
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	64,295	3.5
投 資 信 託 財 産 総 額	1,856,386	100.0

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1アメリカ・ドル=107.53円

\*当期末における外貨建資産（1,803,629千円）の投資信託財産総額（1,856,386千円）に対する比率 97.2%

# 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年3月5日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,856,988,322円
コール・ローン等	64,294,314
投資信託受益証券(評価額)	1,789,481,884
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド(評価額)	2,609,720
未 収 入 金	602,404
(B) 負 債	20,138,488
未 払 金	1,204,114
未 払 解 約 金	6,347,129
未 払 信 託 報 酬	12,471,743
そ の 他 未 払 費 用	115,502
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,836,849,834
元 本	1,734,873,966
次 期 繰 越 損 益 金	101,975,868
(D) 受 益 権 総 口 数	1,734,873,966口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	10,588円

\* 元本状況

期首元本額	2,514,142,997円
期中追加設定元本額	111,511,953円
期中一部解約元本額	890,780,984円

## 損益の状況

自2019年9月6日  
至2020年3月5日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	42,157,597円
受 取 配 当 金	42,165,290
受 取 利 息	8,063
支 払 利 息	△ 15,756
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 9,165,277
売 買 益	26,564,856
売 買 損	△ 35,730,133
(C) 信 託 報 酬 等	△ 12,723,322
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	20,268,998
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	46,749,469
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	34,957,401
(配 当 等 相 当 額)	( 55,553,868)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 20,596,467)
(G) 計 (D+E+F)	101,975,868
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	101,975,868
追 加 信 託 差 損 益 金	34,957,401
(配 当 等 相 当 額)	( 55,553,872)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 20,596,471)
分 配 準 備 積 立 金	129,228,338
繰 越 損 益 金	△ 62,209,871

\* 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\* 信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

\* 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

<分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

(A) 配 当 等 収 益 (費用控除後)	29,440,912円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
(C) 収 益 調 整 金	55,553,872
(D) 分 配 準 備 積 立 金	99,787,426
分 配 可 能 額 (A+B+C+D)	184,782,210
(1 万 口 当 り 分 配 可 能 額)	( 1,065.1)
収 益 分 配 金	0
(1 万 口 当 り 収 益 分 配 金)	( 0)

### お知らせ

---

#### 外国投資信託証券への投資について

外国投資信託証券から株式等へ投資する場合、わが国の投資信託証券から投資を行う場合と比べて税制が不利になる場合があります。

また、当ファンドが主要投資対象とする外国投資信託証券はMLPに投資を行う場合がありますが、MLPの分配金は、21.0%を上限として源泉徴収されます（なお、源泉徴収された金額の一部が還付される場合があります。）。また、MLP投資においては、上記に加えてその他の税が課される場合があります。これらの税金の支払い等によりファンドの基準価額が影響を受けることがあります。

\*現地の税制が変更された場合等は、税率等が変更となる場合があります。

\*上記は、2019年9月末現在、委託会社が確認できる情報に基づいたものであり、MLPに適用される税制等の変更に伴い変更される場合があります。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

# 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

## 参考情報

### ■投資対象とする投資信託証券の概要

ファンド名	ブルックフィールド・グローバル・リアルアセット・ファンド クラスA Brookfield Global Real Asset Fund Class A
基本的性格	ケイマン籍／外国投資信託受益証券／米ドル建て
運用目的	世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リートなどに分散投資を行うことで、安定したインカムゲインの確保とともに、中長期的なファンドの元本の成長を追求します。
主要投資対象	世界のリアルアセット関連企業の債券、株式、リートなど
投資方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>世界のリアルアセット（インフラストラクチャー、不動産、天然資源など）関連の企業等が発行する債券、株式、リートなどに投資します。</li> <li>基本資産配分は、債券50％／インフラ株式25％／リート25％とし、市場環境等によって資産配分を変動させます。</li> <li>保有資産に対して、原則として為替ヘッジは行いません。</li> <li>資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</li> </ol>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般社団法人投資信託協会の規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ10％、合計で20％以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、一般社団法人投資信託協会の規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。</li> <li>投資信託証券（上場投資信託を除く）への投資は、原則としてファンドの純資産総額の5％以内とします。上場投資信託への投資は、原則としてファンドの純資産総額の10％以内とします。</li> <li>借入れは、原則として、借入金の残高の総額がファンドの純資産総額の10％を超えない場合に限り、行うことができます。</li> <li>有価証券の空売りは行わないものとします。</li> <li>デリバティブ取引は、ヘッジ目的に限定しません。</li> </ul>
収益の分配	原則として毎月行います。
申込手数料	ありません。
管理報酬その他費用	<p>年0.69％</p> <p>信託財産にかかる租税、組入有価証券の売買時にかかる費用、組入有価証券の保管にかかる費用、信託事務の処理に要する費用、信託財産の監査にかかる費用、ファンドの設立・運営・管理にかかる費用、法務関連費用、借入金や立替金に関する利息等はファンドの信託財産から負担されます。</p> <p>※上記の報酬等は将来変更される場合があります。</p>
投資運用会社	ブルックフィールド・パブリック・セキュリティーズ・グループ・エルエルシー

※上記の内容は、今後変更になる場合があります。

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### ■投資対象とする投資信託証券の資産の状況

当ファンドの運用報告書作成時点において、入手可能な直前計算期間のBrookfield Global Real Asset Fundの情報を委託会社が抜粋・翻訳したものを記載しております。

#### 財政状態計算書

2019年3月31日現在

	2019年 (USD)	2018年 (USD)
<b>資産</b>		
現金及び現金同等物	428,308	2,561,501
証券会社からの未収金	760,000	500,000
損益を通じて公正価値で測定される金融資産	37,463,725	54,452,716
持分証券発行に係る未収入金	1,317,392	—
貸付金	607,770	927,473
<b>資産合計</b>	<b>40,577,195</b>	<b>58,441,690</b>
<b>負債</b>		
損益を通じて公正価値で測定される金融負債	—	57,916
未払い償還金	148,023	772,713
借入金	89,321	279,379
<b>負債合計</b>	<b>237,344</b>	<b>1,110,008</b>
<b>資本</b>		
持分証券	37,789,439	58,073,810
利益剰余金	2,550,412	(742,128)
<b>資本合計</b>	<b>40,339,851</b>	<b>57,331,682</b>
<b>資本および負債合計</b>	<b>40,577,195</b>	<b>58,441,690</b>

# 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

## 包括利益計算書

2019年3月31日に終了した年度

	2019年 (USD)	2018年* (USD)
<b>収益</b>		
現金及び現金同等物の金利収益	9,935	2,473
損益を通じて公正価値で測定される負債性及び貸付証券の金利収益	1,073,314	1,177,355
損益を通じて公正価値で測定される金融資産の配当収益	998,716	1,177,320
その他の収益	—	343
損益を通じて公正価値で測定される金融資産および負債の純（損）益	1,893,415	(2,259,862)
<b>収益合計</b>	<b>3,975,380</b>	<b>97,629</b>
<b>費用</b>		
配当費用	41,404	24,036
投資顧問報酬	295,405	344,573
信託報酬	6,818	7,952
管理会社報酬	16,364	18,253
カストディアン報酬	104,546	194,945
監査報酬	20,500	21,973
金融商品の減損損失	—	—
その他の手数料及び費用	17,021	22,969
<b>費用合計</b>	<b>502,058</b>	<b>634,701</b>
<b>金融費用勘案前（損）益</b>	<b>3,473,322</b>	<b>(537,072)</b>
<b>金融費用</b>		
金利費用	—	343
<b>金融費用合計</b>	<b>—</b>	<b>343</b>
<b>税引き前（損）益</b>	<b>3,473,322</b>	<b>(537,415)</b>
配当金に係る源泉税	(180,782)	(204,713)
<b>税引き後（損）益</b>	<b>3,292,540</b>	<b>(742,128)</b>
その他包括利益	—	—
<b>当期包括（損）益</b>	<b>3,292,540</b>	<b>(742,128)</b>

全ての損益は継続事業から発生したものである。  
包括利益計算書に表示された損益以外に認識された損益はない。  
\*2017年3月7日（営業開始日）から2018年3月31日まで



## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### 持分変動計算書

2019年3月31日に終了した年度

	持分証券 (USD)	利益剰余金 (USD)	合計 (USD)
2018年4月1日残高	58,073,810	(742,128)	57,331,682
当期包括利益	—	3,292,540	3,292,540
持分証券の発行	7,007,523	—	7,007,523
持分証券の償還	(25,070,390)	—	(25,070,390)
分配金	(2,221,504)	—	(2,221,504)
2019年3月31日残高	<u>37,789,439</u>	<u>2,550,412</u>	<u>40,339,851</u>
	持分証券 (USD)	利益剰余金 (USD)	合計 (USD)
2017年3月7日残高	—	—	—
当期包括損失	—	(742,128)	(742,128)
持分証券の発行	84,957,563	—	84,957,563
持分証券の償還	(24,361,419)	—	(24,361,419)
分配金	(2,522,334)	—	(2,522,334)
2018年3月31日残高	<u>58,073,810</u>	<u>(742,128)</u>	<u>57,331,682</u>

# 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

## キャッシュ・フロー計算書 2019年3月31日に終了した年度

	2019年 (USD)	2018年* (USD)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
当期包括（損）益	3,292,540	(742,128)
営業資産及び負債の変動：		
証券会社からの未収金の増加	(260,000)	(500,000)
損益を通じて公正価値で測定される金融資産の増（減）	16,988,991	(54,452,716)
貸付金の増（減）	319,703	(927,473)
損益を通じて公正価値で測定される金融負債の増（減）	(57,916)	57,916
借入金の増（減）	(190,058)	279,379
営業活動によるネット・キャッシュ・フロー	20,093,260	(56,285,022)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
持分証券の発行	3,468,627	82,435,229
持分証券の償還	(25,695,080)	(23,588,706)
財務活動によるネット・キャッシュ・フロー	(22,226,453)	58,846,523
現金及び現金同等物のネット変動額	(2,133,193)	2,561,501
現金及び現金同等物の期首残高	2,561,501	—
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>428,308</b>	<b>2,561,501</b>
<b>補足情報：</b>		
負債性及び貸付証券の受取り金利	1,157,977	1,161,633
現金及び現金同等物の受取り金利	32,927	13,121
現金及び現金同等物の支払い金利	—	(343)
配当金－源泉税控除後	912,773	803,004
支払分配金	(11,534)	—
株式指数スワップの支払い分配金	(31,572)	(22,059)

\*2017年3月7日（営業開始日）から2018年3月31日まで

## 世界リアルアセット・バランス（資産成長型）

### 【組入上位銘柄】

	銘柄名	資産	通貨	比率
1	American Tower Corp	株式	米ドル	2.6%
2	HCA Inc	債券	米ドル	1.9%
3	Enbridge Inc	株式	カナダドル	1.7%
4	Williams Cos Inc/The	株式	米ドル	1.7%
5	Vinci SA	株式	ユーロ	1.6%
6	Kinder Morgan Inc/DE	株式	米ドル	1.6%
7	National Grid PLC	株式	英ポンド	1.4%
8	Sempra Energy	株式	米ドル	1.4%
9	CSC Holdings LLC	債券	米ドル	1.3%
10	Crown Castle International Corp	債券	米ドル	1.3%

(組入銘柄数 156銘柄)

※ 組入上位銘柄はブルックフィールド・パブリック・セキュリティーズ・グループ・エルエルシーから提供された2019年3月末基準のデータに基づき作成しております。

※ Brookfield Global Real Asset Fundの純資産総額に対する比率です。

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## 運用報告書

決算日：2019年7月25日

(第13期：2018年7月26日～2019年7月25日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 株式への投資は行いません。</li><li>・ 外貨建資産への投資は行いません。</li><li>・ デリバティブ取引（有価証券先物取引等、スワップ取引、金利先渡取引をいいます。）の利用はヘッジ目的に限定しません。</li></ul>



三井住友DSアセットマネジメント

(旧：大和住銀投信投資顧問)  
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## 最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		公社債 組入比率	純資産額
		騰落	率		
第9期 (2015年7月27日)	円		%	%	百万円
	10,179		0.0	68.9	5,091
第10期 (2016年7月25日)	10,186		0.1	81.1	4,928
第11期 (2017年7月25日)	10,177		△0.1	58.8	3,841
第12期 (2018年7月25日)	10,172		△0.0	69.2	4,478
第13期 (2019年7月25日)	10,167		△0.0	72.9	3,760

\*当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的とした運用を行っているため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準	価額		公社債 組入比率	債 率
		騰落	率		
(期首) 2018年7月25日	円		%		%
	10,172		—		69.2
7月末	10,172		0.0		55.0
8月末	10,171		△0.0		72.1
9月末	10,171		△0.0		71.7
10月末	10,172		0.0		72.9
11月末	10,170		△0.0		69.2
12月末	10,170		△0.0		69.8
2019年1月末	10,170		△0.0		67.5
2月末	10,169		△0.0		68.5
3月末	10,169		△0.0		64.4
4月末	10,168		△0.0		75.0
5月末	10,168		△0.0		65.9
6月末	10,167		△0.0		60.0
(期末) 2019年7月25日	10,167		△0.0		72.9

\*騰落率は期首比です。

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】

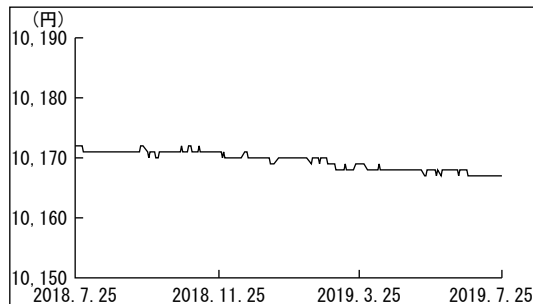
期首：10,172円  
 期末：10,167円  
 騰落率：△0.0%

### 【基準価額の主な変動要因】

(下落要因)

マイナス金利政策導入を背景とした無担保コールレートのマイナス化が下落要因となりました。

基準価額の推移



### 【投資環境】

国内短期金融市場では、期初-0.15%近辺でスタートした国庫短期証券3ヵ月物の利回りは、2018年9月末以降に海外投資家による短期の国債への需要の高まりを受けて-0.3%近辺まで低下しました。その後、期末にかけてマイナス幅を縮小し-0.13%近辺で期末を迎えました。

### 【ポートフォリオ】

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行いました。年限に関しては、残存6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

## 今後の運用方針

日本銀行は2018年7月の金融政策決定会合において、現行の金融緩和政策を粘り強く続けていくため政策金利のフォワードガイダンスを導入しました。したがって当分の間、市場利回りは低い水準での推移が見込まれます。引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続くため、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。ファンドの平均残存年限については2~4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2018年7月26日～2019年7月25日		
	金額	比率	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.002% (0.002)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	0	0.002	
期中の平均基準価額は10,170円です。			

\*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\*円未満は四捨五入しています。

## 売買及び取引の状況

(2018年7月26日から2019年7月25日まで)

### ■公社債

		買	付	額	売	付	額
国	内			千円			千円
		地方債証券		160,936			( 400,000)
		特殊債券		3,221,655			(3,512,000)
		社債券		1,008,280			( 800,000)

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

\*（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

\*社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれていません。

## 主要な売買銘柄

(2018年7月26日から2019年7月25日まで)

### ■公社債

		当期					
買		付		売		付	
銘	柄	金	額	銘	柄	金	額
			千円				千円
30	政保日本政策		390,717		—		—
85	政保道路機構		324,627				
2	政保地方公共団		302,403				
18	政保政策投資C		300,426				
107	政保道路機構		210,398				
82	政保道路機構		201,646				
91	政保道路機構		180,666				
100	政保道路機構		159,004				
93	政保道路機構		148,339				
7	政保原賠・廃炉		120,064				

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

利害関係人との取引状況等

(2018年7月26日から2019年7月25日まで)

■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 4,390	百万円 390	% 8.9	百万円 —	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMBC日興証券株式会社です。

組入資産の明細

2019年7月25日現在

■公社債

A 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当		期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5年以上	2年以上	2年未満
地 方 債 証 券	千円 60,000 ( 60,000)	千円 60,135 ( 60,135)	% 1.6 ( 1.6)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 1.6 ( 1.6)
特 殊 債 券 (除く金融債券)	1,772,000 (1,772,000)	1,780,139 (1,780,139)	47.3 (47.3)	— (—)	— (—)	— (—)	47.3 (47.3)
普 通 社 債 券	900,000 ( 900,000)	902,092 ( 902,092)	24.0 (24.0)	— (—)	— (—)	— (—)	24.0 (24.0)
合 計	2,732,000 (2,732,000)	2,742,367 (2,742,367)	72.9 (72.9)	— (—)	— (—)	— (—)	72.9 (72.9)

\* ( ) 内は、非上場債で内書き

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合



# キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

## B 個別銘柄開示

### 国内（邦貨建）公社債

銘柄	柄	当期			末
		利率	額面金額	評価額	償還年月日
		%	千円	千円	
（地方債証券）					
167	神奈川県公債	1.5200	60,000	60,135	2019/09/20
小計		—	60,000	60,135	—
（特殊債券（除く金融債券））					
20	政保西日本道	1.4000	110,000	110,017	2019/07/29
85	政保道路機構	1.4000	320,000	320,082	2019/07/31
56	日本政策金融	0.0010	60,000	59,994	2019/09/20
91	政保道路機構	1.2000	180,000	180,623	2019/10/31
93	政保道路機構	1.4000	147,000	147,758	2019/11/29
100	政保道路機構	1.4000	157,000	158,421	2020/02/28
10	政保地方公共団	1.3000	100,000	100,905	2020/03/13
30	政保日本政策	0.1940	390,000	390,663	2020/03/18
104	政保道路機構	1.4000	100,000	101,165	2020/04/30
107	政保道路機構	1.3000	208,000	210,508	2020/05/29
小計		—	1,772,000	1,780,139	—
（普通社債券）					
2	大日本印刷	1.7050	100,000	100,024	2019/07/30
44	名古屋鉄道	2.0500	100,000	100,044	2019/08/02
164	オリックス	1.1460	100,000	100,037	2019/08/07
110	三菱地所	0.5710	100,000	100,068	2019/09/13
295	北陸電力	1.4340	100,000	100,226	2019/09/25
69	東京急行電鉄	1.7000	100,000	100,405	2019/10/25
9	長谷工コーポ	0.4400	100,000	100,089	2019/11/05
22	ホンダファイナンス	0.5610	100,000	100,188	2019/12/20
316	北海道電力	1.1640	100,000	101,007	2020/06/25
小計		—	900,000	902,092	—
合計		—	2,732,000	2,742,367	—

## 投資信託財産の構成

2019年7月25日現在

項目	当期		末
	評価額	比率	率
	千円		%
公社債	2,742,367		61.1
コーポレートローン等、その他	1,746,355		38.9
投資信託財産総額	4,488,722		100.0

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年7月25日) 現在

項	目	当	期	末
(A) 資				4,488,722,927円
	コ	ル	・	ロ
	公	社		ン
	未	収	利	等
	前	払	費	債(評価額)
				息
				用
(B) 負				728,229,549
	未	払	払	金
	未	の	他	約
	そ	の	他	費
				金
				用
(C) 純				3,760,493,668
	資	産	総	額(A-B)
	元			3,698,685,821
	次	期	繰	越
				損
				益
(D) 受				3,698,685,821円
	1	万	口	当
				り
				基
				準
				価
				額(C/D)
				10,167円

\*元本状況

期首元本額	4,402,772,876円
期中追加設定元本額	3,761,630,971円
期中一部解約元本額	4,465,718,026円

\*元本の内訳

SMB Cファンドラップ・G-R-E-I-T	75,860,424円
SMB Cファンドラップ・ヘッジファンド	264,777,152円
SMB Cファンドラップ・欧州株	98,347,064円
SMB Cファンドラップ・新興国株	62,570,083円
SMB Cファンドラップ・コモディティ	25,093,959円
SMB Cファンドラップ・米国債	131,864,661円
SMB Cファンドラップ・欧州債	67,072,799円
SMB Cファンドラップ・新興国債	57,786,537円
SMB Cファンドラップ・日本グロース株	165,261,504円
SMB Cファンドラップ・日本中小型株	37,592,457円
SMB Cファンドラップ・日本債	933,410,815円
DC日本国債プラス	611,843,859円
エマーシング・ボンド・ファンド・円コース (毎月分配型)	47,764,473円
エマーシング・ボンド・ファンド・豪ドルコース (毎月分配型)	172,999,503円
エマーシング・ボンド・ファンド・ニュージーランドドルコース (毎月分配型)	8,431,979円
エマーシング・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース (毎月分配型)	279,049,541円
エマーシング・ボンド・ファンド・南アフリカランドコース (毎月分配型)	6,899,968円
エマーシング・ボンド・ファンド・トルコリラコース (毎月分配型)	57,039,919円
エマーシング・ボンド・ファンド (マネー・プールファンド)	297,317,957円
大和住銀 中国株式ファンド (マネー・ポートフォリオ)	97,887,844円
エマーシング好配当株オープン マネー・ポートフォリオ	3,274,103円
エマーシング・ボンド・ファンド・中国元コース (毎月分配型)	1,580,276円
グローバル・ハイイールド債券ファンド (円コース)	783,500円
グローバル・ハイイールド債券ファンド (中国・インド・インドネシア通貨コース)	611,491円
グローバル・ハイイールド債券ファンド (BRICS通貨コース)	750,900円
グローバル・ハイイールド債券ファンド (世界6地域通貨コース)	4,149,898円
米国短期社債戦略ファンド2015-12 (為替ヘッジあり)	245,556円
米国短期社債戦略ファンド2015-12 (為替ヘッジなし)	245,556円
グローバル・ハイイールド債券ファンド (マネー・プールファンド)	38,099,748円

アジア・ハイ・インカム・ファンド・アジア3通貨コース	24,909,114円
アジア・ハイ・インカム・ファンド・円コース	1,725,154円
アジア・ハイ・インカム・ファンド (マネー・プールファンド)	1,001,730円
日本株厳選ファンド・円コース	270,889円
日本株厳選ファンド・ブラジルリアルコース	18,658,181円
日本株厳選ファンド・豪ドルコース	679,887円
日本株厳選ファンド・アジア3通貨コース	9,783円
株式&通貨 資源ダブルフォーカス (毎月分配型)	4,007,475円
日本株225・米ドルコース	49,237円
日本株225・ブラジルリアルコース	393,895円
日本株225・豪ドルコース	147,711円
日本株225・資源3通貨コース	49,237円
グローバルCBオープン・高金利通貨コース	598,533円
グローバルCBオープン・円コース	827,757円
グローバルCBオープン (マネー・プールファンド)	2,008,646円
オーストラリア高配当株プレミアム (毎月分配型)	1,057,457円
スマート・ストラテジー・ファンド (毎月決算型)	12,541,181円
スマート・ストラテジー・ファンド (年2回決算型)	4,566,053円
ボンド・アンド・カレンシー トータルリターン・ファンド (毎月決算型)	14,309円
ボンド・アンド・カレンシー トータルリターン・ファンド (年2回決算型)	12,837円
カナダ高配当株ツインα (毎月分配型)	66,417,109円
日本株厳選ファンド・米ドルコース	196,696円
日本株厳選ファンド・メキシコペソコース	196,696円
日本株厳選ファンド・トルコリラコース	196,696円
エマーシング・ボンド・ファンド・カナダドルコース (毎月分配型)	406,607円
エマーシング・ボンド・ファンド・メキシコペソコース (毎月分配型)	2,992,324円
カナダ高配当株ファンド	984円
米国短期社債戦略ファンド2015-10 (為替ヘッジあり)	149,304円
米国短期社債戦略ファンド2015-10 (為替ヘッジなし)	215,194円
米国短期社債戦略ファンド2017-03 (為替ヘッジあり)	1,751,754円
世界リアルアセット・バランス (毎月決算型)	1,451,601円
世界リアルアセット・バランス (資産成長型)	2,567,864円

## 損益の状況

自2018年7月26日  
至2019年7月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	32,576,263円
受 取 利 息	33,652,029
支 払 利 息	△ 1,075,766
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△34,480,579
売 買 益	157,532
売 買 損	△34,638,111
(C) そ の 他 費 用	△ 95,773
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 2,000,089
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	75,757,721
(F) 解 約 差 損 益 金	△75,738,873
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	63,789,088
(H) 計 (D + E + F + G)	61,807,847
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	61,807,847

\* 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\* 解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

\* 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

## お知らせ

信用リスク集中回避のための投資制限に関する所要の約款変更を行いました。(2018年9月6日付)

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。(2019年4月1日付)

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。